

柏市民活動ニュースレター

2020年1月発行 第15号

《活動》《交流》《学び》

2020年も、さまざまなイベント・講座等を企画し、
市民公益活動団体の活動サポート、柏市における市民公益活動の推進につとめます！
(本号では、昨年10月以降に取り組んだ事業を中心に活動報告をいたします。)



柏市民活動講座『活動を元気にする伝えるチカラ』（令和元年12月23日開催）

<目次>

1. 巻頭写真
2. 市民活動講座『市民活動団体の資金調達～善意の資金の集め方～』
3. 平成31年度千葉県市民活動団体マネジメント事業 NPO事務力集中セミナー・NPOの日常会計処理
4. 市民活動講座『活動を元気にする伝えるチカラ』
5. 平成31年度柏市民公益活動育成補助金（たまご補助金） 中間報告会
補助金交付団体・活動紹介 「チーム・ばんばん」
7. 報 告：柏市民公益活動促進基金（柏・愛らぶ基金） 活動紹介ポスター展示を行いました！
8. お知らせ：柏市民公益活動情報サイト「かしわん、ぽっ？」を活用しよう！

10/19
市民活動
講座

『市民活動団体の資金調達～善意の資金の集め方～』

講師：ファンドレイジング・ラボ 代表 徳永洋子 氏

今年度2度目の市民活動講座は10月19日（土）パレット柏多目的ルームAにおいて、参加者32名で開催されました。

■講座の概要

柏市内の市民活動団体（NPO法人及び任意団体）を対象に、共感によって支援の輪を広げる活動資金の集め方、助成金を活かすポイントについて学ぶ講座でした。



■講義の内容

（1）ファンドレイジングとは？

徳永氏は欧米で使用されていたファンドレイジング（資金調達）の言葉を敢えて日本語に翻訳しないで、そのまま使用した最初の方です。その言葉の経緯についても詳細な解説がありました。

（2）寄付集め

活動団体はその支援者との関係性の構築をステップアップさせることが重要。それには、すでに導入することも簡単なNPO向け決裁システムを活用し、支援者に負担させない気遣いが必要である。

①CANPAN決裁システム

②シン・ファンドレイジングペイメント

（3）会員拡大のポイント



●成否のカギは会員の継続率（リマインドを忘れず、「ついで」に納入できる機会をマンスリに導入）

●会員は団体のファンクラブ、ファン心理に訴える。（仲間として認められている、功績が認められていることを知ってもらう。）

（4）助成金を活かすポイント

●助成金情報はもはやネットの情報戦、交付してくれる団体をネットで調べる。

●助成金は消費ではなく団体への投資資金。

●活動のためでなく事業のためのもの。



*ファンドレイジングが社会を変える。

*ファンドレイジングの共感を得て、社会を変えるために共に行動する仲間が増える。

*社会が変わるとの信念で結論づけられた講座でもありました。（報告：砂原成治）

10/31、11/12

千葉県主催
市民活動講座

平成 31 年度 千葉県市民活動団体マネジメント事業 NPO 事務力集中セミナー・NPO の日常会計処理

先日、パレット柏にて「平成 31 年度 千葉県市民活動団体マネジメント事業」が開催されました（主催：千葉県、企画運営：認定 NPO 法人ちば市民活動・市民事業サポートクラブ（NPO クラブ））。この講座では、主に市民活動団体（NPO 法人）の運営に必要な“事務力”を学ぶものでした。以下、2 回の講座について概要を報告します。

NPO 事務力集中セミナー

日時：10 月 31 日（木）15:20～19:00

講師：鍋島洋子さん、風間文子さん

（認定 NPO 法人ちば市民活動・市民事業サポートクラブ）

参加申し込み人数：30 名

講座内容：NPO 法人の役員やスタッフ、NPO 法人の設立を検討している方、支援力を強化したい中間支援組織スタッフを対象に、【NPO の基礎】【所轄庁手続】【法務局手続】【会議の運営】【会計処理】【労務管理】について学び、同日セミナー後に「NPO 事務力検定」（NPO クラブ自主事業）が実施されました。



NPO の日常会計処理

日時：11 月 12 日（火）15:20～18:00

講師：税理士 加藤達郎さん

（千葉県税理士会所属、加藤達郎税理士事務所所長）

参加申し込み人数：31 名

講座内容：NPO 法人の会計担当や役員の方を対象に、複式簿記、帳簿の作成など日常の会計処理と活動計算書、貸借対照表、財産目録の作成など NPO 法人の決算報告書作成について学び、ワークでは実際に、仕訳、伝票（入金・出金・振替）の記入、伝票から総勘定元帳への転記、試算表の作成を行いました。



NPO 法人には、特定非営利活動促進法（NPO 法）にて適切な管理・運営を行うことが定められています（NPO 法第 27～29 条：事業報告書等の事務所備え置き、所轄庁への提出。会計処理方法等）。それら苦手意識を少しでも減らし、日々の活動を楽しんでいきたいものです。

（報告：鬼山恵子）

12/23
市民活動
講座

『活動を元気にする伝えるチカラ』

講師：(株)石塚計画デザイン事務所 代表取締役(共同代表) 千葉晋也 氏

12月23日(月)、市民活動講座「活動を元気にする『伝えるチカラ』」を開催しました。講師は、昨年につき(株)石塚計画デザイン事務所の千葉晋也さんです。

講座のテーマ

イベントの広報など、市民活動を広くPRするためのコツ、『伝えるチカラ』を学ぶ

- ✓ その思い(やりたいこと)をカタチ(企画)にすること
- ✓ やりたいことを上手に広報(PR)し、人に伝え、共感する仲間をつくること

ワークでは伝えたい相手をできるだけ詳細にイメージしたり、自分の活動のトーン&マナーを考えたりと実際にいろいろな演習に取り組み、その中で受講者同士で自分たちの活動について話し合いながら、充実した内容の講義3時間になりました。

「まちでこんなことが気になる」「まちでこんなことができたら」、市民活動団体の皆さんは、さまざま思いを持って日々活動していると思います。この講座での学びを活かし、自分たちの思いや活動を、相手に上手く伝え、多くの人たちと良い関係を築き、共感や協力を得られる団体を目指してもらいたいものです。(報告：鬼山恵子)



市民活動講座 活動を元気にする『伝えるチカラ』

日時 2019年12月23日(月) 17:30~20:30

講師 千葉 晋也 氏 (株)石塚計画デザイン事務所 代表取締役(共同代表)

場所 パレット柏 多目的スペースA

参加者 21名

平成 31 年度 柏市民公益活動育成補助金 (たまご補助金) 中間報告会

10月7日(月)、柏市役所本庁舎において、平成31年度柏市民公益活動育成補助金(たまご補助金)の中間報告会が開かれ、補助金交付団体からのこれまでの活動の中間報告と、団体同士の意見交換が行われました。

■中間報告

今年度、たまご補助金を受けて市民公益活動を行っている15の団体が、前半9月までの活動状況や課題と、後半10月以降の活動計画や目標について報告し、4名の審査委員から講評を受けました。

たまご補助金の交付団体は、設立5年未満の経験の浅い団体を中心であり、4分という短い持ち時間の中でしたが、自分たちの団体活動の思いの丈を話していました。

《たまご補助金交付団体(発表順)》

※()は意見交換のグループ

- ① Kashiwa Prog-Science (A)
- ② チーム・ばんばん (A)
- ③ セバシナ研究会 (A)
- ④ 地域パートナー推進協議会 (C)
- ⑤ 耳守研究会 Safe Listening Lab (B)
- ⑥ TENROKU'19(天禄)(B)
- ⑦ 柏観光プロダクション (A)
- ⑧ ウイメンズブレイクタイム (B)
- ⑨ ケアカフェかしわ実行委員会 (C)
- ⑩ ママコミュ SMILE :) (B)
- ⑪ まつばスマイルネットワーク (B)
- ⑫ ドリームハーモニー会 (A)
- ⑬ 柏健康ソラン倶楽部 (C)
- ⑭ 東葛北部認定栄養ケアステーション (C)
- ⑮ スポーツを通じた健康増進を普及する市民の会 (C)

各団体の活動報告は、いずれも団体設立当時の「熱い思い」が伝わるものでしたが、他方、活動が壁にぶつかり、その解決方法を模索している団体も見られました。

《中間報告の様子》



■意見交換

中間報告のあと、15団体が3つのグループに分かれて、「これまでの活動における課題と今後の目標」というテーマで意見交換会が行われました。主な意見は以下の通りです。

《Aグループ》

- たまご補助金終了後、いかにして団体が自立して活動を継続していくかが課題。特に資金集めが課題になる
- 参加者集めに苦労しているが、どのように工夫しているか?

《Bグループ》

- 団体活動がまだ軌道に乗っておらず、活動体制の増強や活動内容の充実が必要
- 他団体との繋がりが必要であり、今日の意見交換会の団体とも連携したい

《Cグループ》

- たまご補助金団体は、広報かしわへの掲載ができるので、団体活動の広報に活用したい
- 集客の手段は、団体の特徴によりベターな方法を選択する必要がある

■委員講評

- 各団体とも、たまご補助金を活用して「良い活動」をしていると思うが、「良さ」が市民に伝わらないことが市民活動では多々ある。
- 「良い活動」をしているだけではなく、これを市民に認知してもらうよう努めていることが解れば、審査の際に評価が付けやすくなるので、補助金を活用して活動を市民に認知してもらうよう取り組んでください。

参加しての感想

- たまご補助金の交付団体は、経験の浅い団体を中心なので、活動自体がまだ軌道に乗っていない団体も多く見受けられましたが、本補助金を有効に活用して、市民活動団体として成長されることを期待しています。
- わからないことや困ったことがありましたら、遠慮なく、市民活動サポートコーナーに相談してください。
- なお、たまご補助金は3回まで受けることができ、現在、令和2年度のたまご補助金の申込を受け付けています。(令和2年1月31日締切)(報告:及川愛二)

チーム・ばんばん ～町を元気にする活動～

柏市の北西部、みどり台では元気ある町づくりを目指して、町内にある会館を利用し、地域の活性化に努力されている元気な市民公益団体チーム・ばんばんさんをご紹介します。

■団体の立上げ

チーム・ばんばんの発足は2018年10月。立ち上げてまだまだ若い団体ですが、代表の弓削さんをはじめ約20名の会員さんは知恵を絞って地域の活性化に取り組んでいます。町会活動の担い手は高齢化し単年度で交代する役員さんには行事運営が負担になっている。それらを嘆く声が多く聞かれる中、「私たちにできることはないか」という思いが集まりこのチームができたそうです。長年の子育て時代に結ばれた母親同士の絆、主婦として暮らしてきた中で得た地域の情報、そして仕事で培ったスキル、それらを地域活動に生かすことができれば嬉しい。みんなでイベントの準備をして汗を流すのも楽しい。

弓削さんは、自分たちが出来ることは行うが無理をせず各分野の「達人な方」たちに助けをもらいながら自らも楽しむことを大切にしている。とおしゃっています。メンバー自身が「楽しい！」という気持ちでいることが第一。お話しを聞いているとチーム・ばんばんの皆さんが地域での活動を楽しんでいる様子がうかがえます。「歌えばんばん」の歌詞の「いつでも どこでも どなたでも」のように「あたたかい町」づくりのお役に立てれば嬉しいと益々活動の幅を広げています。新しいことにも前向きにチャレンジ。市民活動フリーマーケットや市民活動フェスタのイベントにも意欲的で他の市民団体との交流も楽しみにしていると話されています。

チーム・ばんばんの活動は2019年度の“たまご補助金”の受給決定団体でもあります。その活動はきっとどの町にでも展開可能なモデルケースにもなることでしょう。

■活動の多彩さ

(1) 歌声サロン（偶数月の第3月曜日に開催）

講師には専門のピアニストを呼んでいます。

各回の参加者は50名～70名

挽きたてコーヒーと焼きたてパンも好評です。

■ふれあい広場で珈琲ショップ

(2) 優しい笑顔でおもてなし



(3) 落語の会

(東葛高校の落語研究会出身で、現在も松戸市で活動している“黒い三連星”の出演で大いに盛り上がります。)



取材を終えて

世話好きが高じて、おっせかいさんと呼ばれようとも町を元気にして行く様子が良く伺えます。柏市のどの地域にもこのような活動があって欲しいと思わずにはおれませんでした。(報告：砂原成治)

(4) 蕎麦打ち (2回/年)

職人肌の会員のリードが好評。もっと時間を延ばしてやもっと回数を増やしての声上がる。



どの企画も町内のシニアクラブと連携を密にとりポスター掲示や会場準備など大勢で行っている。地域活動が盛り上がり同じ町に住む人同士が顔見知りになるよう活動していきたい。

【団体名：チーム・ばんばん 代表：弓削規子さん (04-7131-5086)】

柏・愛らぶ基金 報告

柏市民公益活動促進基金（柏・愛らぶ基金） 登録団体 活動紹介ポスター展示を行いました！（パレット柏オープンスペース）

11月12～22日、パレット柏オープンスペースにて、柏市民公益活動促進基金（柏・愛らぶ基金）の登録団体による活動紹介ポスター展示を行いました。これは登録団体の活動や基金の制度を多くの市民に知ってもらうことを目的に開催しているものです。今年は18団体がPRに参加、どの団体も思い思いの工夫を凝らした活動紹介の展示になりました。（11/23（土祝）ほかほか市会場でのPRは雨天のため中止）

今回は基金団体と柏市が「団体活動と制度の周知→寄附につながる」という共通の目標に対し、協力（協働）することを意識したPR活動になるよう取り組みました。今後も同じ想いをもち、多くの市民に柏・愛らぶ基金を広めていければと思っています。（報告：鬼山恵子）



市民公益活動団体には、団体の活動とその目的を広く市民に公開することが求められます。「かしわん、ぽっ？」の登録をすると、団体情報を随時変更したり、イベントや会員募集、活動報告などを掲載したりすることができ、団体のホームページとしても御利用いただけます。「かしわん、ぽっ？」の登録をして、自分たちの活動を積極的に発信し、活動内容のPRや新たな仲間の獲得につなげましょう！



(団体の活動報告も、写真入りで掲載できます！)

■登録方法

柏市民公益活動情報サイト「かしわん、ぽっ？」登録申出書に必要事項を記入して、市民活動サポートコーナーに提出してください。登録すると、「かしわん、ぽっ？」IDとパスワードが付与されます。

登録申出書は、市ホームページでダウンロードするか、市民活動サポートコーナー窓口にあります。

■活用方法

「かしわん、ぽっ？」へログインして、マイページからイベント、活動報告、会員募集の掲載が可能です。写真を入れたりなどの編集も簡単なので、日々の活動を随時PRできます。市民活動サポートコーナーでは、使い方のレクチャーや掲載内容に関するアドバイスも行って居ますので、お気軽にご相談ください。

編集・発行

2020年1月発行

パレット柏 市民活動サポートコーナー
及川愛二 / 鬼山恵子 / 砂原成治 / 松清智洋

〒277-0005 柏市柏1-7-1

DayOne タワー3階

TEL 04-7163-1143 / FAX 04-7163-1147

shiminkatsudo-c@city.kashiwa.chiba.jp

<http://kashiwanpo.genki365.net/>

窓口開設時間

9:30~17:45 年末年始休館

(※パレット柏の開館時間は 8:30~21:30)

編集後記

2019年を振り返ると…、

- ✓ 年号が平成から令和へ（5月）
- ✓ ラグビーW杯開幕（6月）
- ✓ 台風や大雨で相次ぐ災害に見舞われる
- ✓ 首里城火災（10月） など

と、さまざまな出来事が起きました。

それらを見聞きすることで、嬉しくなったり（時に悲しくなったり）と、その都度一喜一憂した一年でした。いろいろな感情の波を味わえるのも、生きているからこその特権なのかなあと、そう思っているこの頃です。

さあ、2020年のスタートです！今年は東京オリンピック・パラリンピックYear、私たちも「One Team」で柏の市民活動を盛り上げていきましょう！（編集：鬼山恵子）